

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13088	3	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	臨床栄養学Ⅱ (疾患別・病態別栄養管理) (Clinical Nutrition Science Ⅱ)				
担当教員名	小城 明子				
授業の概要及び到達目標					
<p>【ねらい】病理学Ⅰ、臨床栄養学Ⅰなどで学んだ知識を基に、各疾病と栄養状態との関係を理解し、疾病に対する臨床栄養学的なアプローチを実践するために必要な基礎知識を学習する。</p> <p>【概要】栄養管理を必要とする主要疾病の発症機序および病態生理を概説し、栄養食事療法の意義とその内容を解説する。</p> <p>【到達目標】①各疾病の病態や栄養状態の特徴を概説できる。②各疾病の発症機序と栄養食事療法との関係を説明できる。</p>					
準備学習等					
「体の仕組みと働きⅠ・Ⅱ」および「病理学Ⅰ」、「臨床栄養学Ⅰ」の学修内容を十分に復習してから臨むこと。					
第1回	消化器官（特に胃）の解剖生理および三大栄養素の消化・吸収の復習 テキスト p. 160～166 : 7.3 項、7.4 項の該当箇所の予習・復習				
第2回	消化器官（特に小腸・大腸）の解剖生理の復習 テキスト p. 166～174 : 7.5 項、7.6 項の予習・復習				
第3回	消化器官（特に肝臓）の解剖生理の復習 テキスト p. 174～184 : 7.7 項～7.9 項の予習・復習				
第4回	消化器官（特に胆嚢・膵臓）の解剖生理の復習 テキスト p. 184～190 : 7.10 項、7.11 項の予習・復習				
第5回	第1～4回の授業内容の復習 テキスト p. 243～246 : 12.1 項の予習・復習				
第6回	テキスト p. 104～107、P. 118～122 : 5.5 項、5.8 項の予習・復習				
第7回	糖代謝、脂肪のβ酸化の復習 テキスト p. 108～114 : 5.6 項の予習・復習				
第8回	テキスト p. 114～117、p. 129～143 : 5.7 項、6.1～6.3 項の予習・復習				
第9回	循環器官の解剖生理の復習 テキスト p. 143～148 : 6.4 項、6.5 項の予習・復習				
第10回	第5～9回の授業内容の復習 呼吸器官の解剖生理の復習 テキスト p. 239～242 : 11.3 項の予習・復習				
第11回	腎臓の解剖生理の復習 テキスト p. 191～210 : 8.1～8.5 項の予習・復習				
第12回	テキスト p. 200～207、p. 213～216 : 8.4 項、8.7 項の予習・復習				

<p>第 13 回 内分泌器官の解剖生理の復習            テキスト p. 122～128 : 5. 9 項、5. 10 項の予習・復習</p> <p>第 14 回 テキスト p. 250～254、p. 256～257 : 13. 1 項、13. 2 項、13. 4 項の予習・復習</p> <p>第 15 回 テキスト p. 148～151 : 6. 6 項の予習・復習</p>	
成績評価の方法	小テスト 45%、期末試験 55%
テキスト	栄養科学シリーズ NEXT シリーズ『新・臨床栄養学』竹谷豊・塚原丘美・桑波田雅士・阪上浩編：講談社サイエンティフィック（ISBN 978-4-06-155384-2）
参考図書	『看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック 第 5 版』、奈良信雄著：医歯薬出版社（ISBN 978-4-263-70625-1）
備考	<p>○「体の仕組みと働き I・II」および「病理学 I」、「臨床栄養学 I」の学修内容を十分に復習してから臨むこと。</p> <p>○当該授業科目の単位修得は、「臨地実習 III」履修条件である。</p> <p>○卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図の通り。</p> <p>○オフィスアワーは desknet' s の一覧を確認すること。</p>
授 業 計 画	
<p>各テーマとも、疾病の成り立ち、病態とその評価、栄養状態との関係、栄養食事療法について講義する。</p> <p>第 1 回 臨床栄養学とは、消化器疾患（胃食道逆流症、胃炎、胃・十二指腸潰瘍）</p> <p>第 2 回 消化器疾患（過敏性腸症候群、炎症性腸疾患、タンパク漏出性腸症）</p> <p>第 3 回 消化器疾患（肝炎、肝硬変、脂肪肝）</p> <p>第 4 回 消化器疾患（胆石症、膵炎）</p> <p>第 5 回 小テスト（消化器疾患）、血液系の疾患・病態（貧血）</p> <p>第 6 回 肥満症，代謝疾患（高尿酸血症・痛風）</p> <p>第 7 回 代謝疾患（糖尿病）</p> <p>第 8 回 代謝疾患（脂質異常症）、循環器疾患（動脈硬化症、高血圧症）</p> <p>第 9 回 循環器疾患（虚血性心疾患、心不全）</p> <p>第 10 回 小テスト（肥満症・代謝疾患・循環器疾患）、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患）</p> <p>第 11 回 腎疾患（糸球体腎炎・急性腎障害・糖尿病性腎症）</p> <p>第 12 回 腎疾患（慢性腎臓病、透析療法）</p> <p>第 13 回 内分泌疾患（甲状腺疾患、副腎疾患）</p> <p>第 14 回 骨格疾患（代謝性骨疾患）、筋疾患（サルコペニア）</p> <p>第 15 回 妊産婦の疾患（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病）</p>	